

平成28年度 学校運営連絡協議会(学校関係者)評価報告書

学校名 豊島区立西巢鴨小学校

校長名 内藤 信之

1 平成28年度 学校運営連絡協議会の主な内容

開催日	協議内容等
第1回協議会 (平成28年6月17日)	・学校経営方針説明 ・授業参観 ・避難訓練参観
第2回協議会 (平成28年11月4日)	・1～2学期の教育活動について ・音楽会参観
第3回協議会 (平成29年2月25日)	・学校関係者評価 ・次年度計画概要説明 ・6年生を送る会参観

2 豊島区教育ビジョン2015成果指標の達成状況

対象	アンケート項目	肯定的回答
保護者	学校の教育活動に満足している	91.8%
児童	学校生活は楽しい・充実している	87.2%

3 学校の自己評価の概要及び学校運営連絡協議会の評価結果

評価項目	学校の自己評価の概要	評定 I	学校運営連絡協議会の評価	評定 II
(1) 「確かな学力」の育成に関する事	「区独自の学力調査」 ・第6学年の各教科(4教科)達成率が全て90%を超えた。 ・「もっと勉強して、いろいろなことを知りたいと思う」に95%の児童が肯定的な回答をした。 「児童に対するアンケート調査」 ・「学校生活は楽しい」に肯定的な回答した児童は87%であった。	4	・達成率が全て90%を超えたというのは、とても素晴らしい。教職員の努力の成果と捉える。 ・意欲面での肯定的な回答が95%は、とても素晴らしい。 ・児童にとって学校生活が楽しいということは、最も大切な点であり、成果が出ている。 ・全体的にとっても素直で伸び伸びと子供たちが育っている。	A
(2) 「豊かな人間性」の育成に関する事	「区独自の学力調査」 ・「人の役に立つことを、自分から進んでする」に肯定的な回答をした児童は70%であった。 「不登校児童」 ・今年度は、0名である。(出現率0%) 「保護者・児童アンケート」 ・「学校が心の教育を推進しているか」という設問に対し、保護者は93%、児童は92%が肯定的な回答をした。	3	・社会の役に立ちたい意識は、70%だが、これは成長とともに上昇して欲しい点である。 ・登校時に1～2名の児童が「登校したくない」表情をしていることが気になる。 ・不登校児0名というのは、教職員との関係の良好さの表れである。	B
(3) 「健やかな心と体」の	「都体力調査」(8種目) ・都平均を上回るものは、男子5種目、女子4種目あった。上体起	2	・全て上回ることは難しいと思うが、来年度に期待する。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」では、	B

育成に関する こと	こし、50m走、総合結果は、男女とも都平均を上回った。しかし、反復横跳び、20mシャトルランは、男女ともに下回った。 「区学力調査」 ・「早寝・早起き・朝ごはん」を実践していると回答した児童が78%であった。		成果が現れている。	
(4) 教師力の向上に関する こと	「区学力調査」 ・「学校の授業はよく分かる」に90%の児童が肯定的な回答をした。 「保護者アンケート」 ・本校校の教育活動へ肯定的な回答をした保護者は94%であった。	3	・結果から、評定は4でもよい。 ・保護者の94%はかなりの高評価である。	A
(5) 地域に信頼される学校運営に関する こと	「としま土曜公開授業アンケート」、「保護者アンケート」 ・全学年で出前授業を実施した。 ・本年度は地域の車イスバスケットボールチームを招いた。 ・学校歯科医による指導を発達段階に応じて各学年で実施した。	3	・とてもよい取り組みである。 ・体験的な学習はとても大切である。 ・障がいがある方を正視し、自らは何ができるかを考える貴重な機会であった。	A
(6) その他	「保護者、児童アンケート」 ・「家庭学習を行っている（学年×10分以上）」という設問に対して、保護者は93%、児童は91%が肯定的な回答をした。 ・特に保護者は、一昨年度77%、昨年度81%から大きく上昇した。	4	・家庭学習は難しいが、肯定的な回答が上昇している点はすばらしい。ぜひ、継続して欲しい。 ・子供たちが幸せな環境にいることが分かり、嬉しい。	A

※ 評定Ⅰにつきましては、各学校の自己評価を以下の評語によりご記入ください。

4 非常に良い	3 良い	2 課題がある	1 課題が多い
---------	------	---------	---------

※ 評定Ⅱにつきましては、評定Ⅰの結果を、学校運営連絡協議会（学校関係者評価委員会）で評価・検討し、以下の評語によりご記入ください。

A 評価は妥当である	B 評価はおおむね妥当である
C 評価は妥当ではない	D 評価が妥当かどうか分からない

4 今年度の課題及び次年度に向けた改善策

<ul style="list-style-type: none"> ・児童の潜在的な能力を見出すこと。 ・いじめのない学校づくり。 ・幼小連携教育の推進。
